

報 告

第12回 子どもの福祉用具展 —キッズフェスタ 2013—

一般財団法人啓成会 啓成会高等職業技術専門校 訓練課 片石 任

1. はじめに

第12回 子どもの福祉用具展 キッズフェスタ2013 (図1) が4月20日(土)、21日(日)の両日、東京都大田区平和島にある東京モノレール「流通センター」駅隣接のTRC東京流通センター第1展示場にて開催された。その模様を報告する。



図1 正面入口前にて

2. 会場の様子

キッズフェスタ初日と大阪バリアフリー展の最終日が重なってしまい、両イベントに出展する企業にとっては展示物の準備と担当者のやりくりで悩まされたのではないと思われる。そしてキッズフェスタ初日の天気予報は雨模様で、入場者数が心配される状況でもあった。しかし、受付を済ませて会場に入るとその心配も無用であったと感じた。初日、まだ開場から2時間も経っていないうちに会場内は歓声や笑い声でつままれていた。今回のキッズフェスタは通路を自分のペースでなかなか歩けなかった。開

始早々に混み始めてきたのも理由のひとつであるが、もう一つは、早速デモ機を借りて動き始めているキッズが例年になく多かったからである。座ることができたら座らせたままにせず、動かせるところは積極的に動かそうとする意識が一般的になってきたのか、今年の展示品には「動く」ことを目的にした、車椅子、歩行器、ハンドバイクなどの展示品が多く見受けられた。試乗しているキッズは、自分の意志で行きたいところ、行きたい方向に移動することの楽しさを得て「つかまえられるものならつかまえてみて!」と言わんばかりに後ろをわざと振り返るその表情は、笑顔と喜びに満ち溢れていた。キッズがデモ機の試乗をしている間にブース担当者がとても忙しそうに接客する姿も例年より多く見受けられここでも来場者の多さを感じた。

今年は初出展を含む53社が出展し、車椅子(手動、電動、バギー等)、姿勢保持具(カーシート、座位・立位・臥位保持装置、クッション、ベルト等)、移動用具、遊具・訓練具、スイッチコミュニケーションエイド、衣料品、入浴補助具その他が展示された。今年は新たに登録した完成用部品を紹介するブースも多く、実際に完成用部品を手にとって見ることもできた。また日本のみならず世界に目を向けた企業もあった。製品がヨーロッパ安全基準ECE R44/04や、アメリカの安全基準FMVSS213に対応しているものや、カーシートごとの飛行機移動も考えアメリカ連邦航空局(FAA: Federal Aviation Administration)の認可を受けた製品を展示する企業もあった。日本国内のみならず世界へ目を向けたモノづくりを進めて、今後も日本発世界基準になりうる製品を送り出していきたいと考える。

4月に開催されるこのキッズフェスタは福祉用具展として福祉用具/機器を学ぶ学生にとって情報を得る絶好の機会である。今後も出展社数を増やしていただき、より一層の内容充実をお願いしたい。

一般財団法人啓成会

啓成会高等職業技術専門校 訓練課

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-13-8